【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2003-221136(P2003-221136A)
【公開日】平成15年8月5日(2003.8.5)
【出願番号】特願2002-23463(P2002-23463)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｈ　1/26
　Ｂ４１Ｊ　2/01
　Ｂ４１Ｊ　13/00
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｈ　1/26　３１２Ｃ
　Ｂ６５Ｈ　1/26　３１０Ｌ
　Ｂ４１Ｊ　13/00
　Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月24日(2005.1.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】記録装置および給送方法
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　記録メディアに情報を記録する記録装置において、
　複数枚の記録メディア、および複数枚の記録メディアが収納された収納ケースのいずれか一方が選択されて積載される積載部と、
　記録メディアを給送する給送ローラと、
　前記積載部に積載された記録メディアを前記給送ローラに対して圧接する圧板と、
　前記圧板が記録メディアを前記給送ローラに対して圧接するときに前記給送ローラに対する前記収納ケースの位置を規制する規制手段と、
　を備えることを特徴とする記録装置。
【請求項２】
　前記規制手段は、前記給送ローラの回転軸に設けられていることを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項３】
　前記圧板の記録メディアを積載する面から前記給送ローラ側に突出する突出状態と、前記給送ローラ側に突出しない退避状態と、に移動可能に設けられた突出部材と、前記収納ケースを前記積載部に積載したときに前記突出部材を突出状態にし、前記収納ケースに収納されていない記録メディアを前記積載部に積載したときに前記突出部材を前記退避状態にする切り換え手段と、を備えることを特徴とする請求項１または２に記載の記録装置。
【請求項４】

前記圧板の記録メディアを積載する面から前記給送ローラ側に突出する突出状態と、前記給送ローラ側に突出しない退避状態と、に移動可能に設けられた突出部材を備え、前記収納ケースを前記積載部に積載した状態で、前記給送ローラが前記収納ケースの上方に配され、前記突出部材が前記収納ケースの下方に配されることを特徴とする請求項１または２に記載の記録装置。

【請求項５】

前記収納ケース内の記録メディアの枚数に応じて、前記突出部材が前記圧板の記録メディアを積載する面から突出する突出量が制御されることを特徴とする請求項３または４に記載の記録装置。

【請求項６】

前記記録装置は、記録手段からインクを吐出して記録メディアに記録を行うことを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１項に記載の記録装置。

【請求項７】

記録メディアに情報を記録する記録装置側に記録メディアを給送する給送方法において、

収納ケース内に収納された複数枚の記録メディアを給送するときに、前記収納ケース内の前記記録メディアの位置を制御して給送する給送方法。

【請求項８】

前記収納ケース内の前記記録メディアの枚数に応じて、前記収納ケース内の前記記録メディアの位置を制御することを特徴とする請求項７に記載の給送方法。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばフィルムや記録用紙等の複数枚の記録メディアが収納ケース内に収納した形態で装着され、記録メディアに記録を行う記録装置、および収納ケース内の記録メディアを給送する給送方法に関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

そこで、本発明は、記録メディアに最適な記録を容易に行うことができる記録装置ならびに、複数の記録メディア、および複数の記録メディアが収納ケース内に収納された各形態で、記録メディアをそれぞれ良好に給送することができる給送方法を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

【課題を解決するための手段】

上述した目的を達成するために、本発明に係る記録装置は、記録メディアに情報を記録する記録装置において、複数枚の記録メディア、および複数枚の記録メディアが収納された収納ケースのいずれか一方が選択されて積載される積載部と、記録メディアを給送する

給送ローラと、積載部に積載された記録メディアを給送ローラに対して圧接する圧板と、この圧板が記録メディアを給送ローラに対して圧接するときに給送ローラに対する収納ケースの位置を規制する規制手段と、を備える。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
以上のように構成された本発明の記録装置によれば、複数枚の記録メディアを収納ケース内に収納した形態（メディアパック）でユーザに供給する。そして、本発明の記録装置は、給送ローラ、圧板、規制手段とによって、積載部に積載されたメディアパック内から給送された記録メディアと、積載部に載置されて給送された複数の記録メディア（裸の記録媒体）とに選択的に記録を行うことが可能とされている。また、本発明の記録装置は、同一の積載部に積載されたメディアパックおよび裸の記録メディアを、同一の給送ローラ、圧板、規制手段によってそれぞれ給送して記録を行うため、装置全体の小型化が図られる。本発明の記録装置では、圧板が記録メディアを給送ローラに対して当接させるときに、規制手段によって、積載部に積載された収納ケースと給送ローラとの相対位置が規制されるため、積載部の圧板に対して収納ケース全体が浮き上がることが防止される。したがって、この記録装置では、積載部に積載された収納ケース内の複数枚の記録メディアから１枚ずつ記録メディアを分離して良好に給送することができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
また、本発明に係る記録装置は、規制手段が、給送ローラの回転軸に設けられることが好ましい。これによって、この記録装置は、給送ローラによる給送動作に同期させて、規制手段が確実に作動される。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
また、本発明に係る記録装置は、圧板の記録メディアを載置する面から給送ローラ側に突出する突出状態と、給送ローラに突出しない退避状態と、に移動可能に設けられた突出

部材と、収納ケースを積載部に積載したときに突出部材を突出状態にし、収納ケースに収納されていない記録メディアを積載部に積載したときに突出部材を退避状態に切り換える切り換え手段とを備える。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
このように構成された記録装置によれば、突出部材が突出された突出状態で、圧板による圧接力が、収納ケース内の記録メディアに確実に伝達される。このため、この記録装置は、収納ケース内から給送される記録メディアが、給送ローラに対して良好に圧接されて、給送ローラによって良好に給送される。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
また、本発明に係る記録装置は、収納ケースを前記積載部に積載した状態で、給送ローラが収納ケースの上方に配され、突出部材が収納ケースの下方に配される。なお、収納ケースの上方および下方とは、積載部に積載されている収納ケースの鉛直方向に対する上方および下方を指す。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
また、本発明に係る記録装置は、収納ケース内の記録メディアの枚数に応じて、突出部材が圧板の記録メディアを載置する面から突出する突出量が制御される。このように構成された記録装置によれば、突出部材が、収納ケース内の記録メディアの残量が多いときに突出量を少なく、収納ケース内の記録メディアの残量が少ないときに突出量を多くなるように制御される。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
また、本発明に係る記録装置は、記録手段からインクを吐出して記録メディアに記録を行う。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４８】
【発明の効果】
上述したように、本発明によれば、積載部に複数の記録メディアが収納された収納ケースを積載して給送することと、積載部に複数の記録メディアを積載して給送することとを選択的に行うことができる。また、本発明は、同一の積載部に積載されたメディアパックおよび裸の記録メディアを、同一の給送ローラ、圧板、規制手段によってそれぞれ給送するため、記録装置全体の小型化が図られる。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５１】
また、本発明は、圧板の記録メディアを載置する面から給送ローラ側に突出する突出状態と、給送ローラ側に突出しない退避状態と、に移動可能に設けられた突出部材と、この突出部材を突出状態と退避状態とに切り換える切り換え手段とを備えることにより、積載部に収納ケースが積載されたときに、突出部材が突出状態にされることで、圧板による圧接力が、収納ケース内の記録メディアに確実に伝達することができる。このため、本発明は、収納ケース内から給送される記録メディアを、給送ローラに対して良好に圧接させて、給送ローラによって良好に給送させることができる。